2017年8月に秋田県で採集したアリ類

久末 遊
九州大学大学院生物資源環境科学府昆虫学教室

Yu HISASUE : Ants collected from Akita Prefecture (Japan) in August 2017

Entomological Laboratory, Faculty of Agriculture, Graduate School of Kyushu University
Motooka 744, Fukuoka, Fukuoka 819-0395, Japan.
E-mail: hybrizonist@gmail.com

日本には約300種のアリが生息していることが知られ（寺山ほか 2014），これまで数多の研究者や愛好家によって各都道府県のアリ類の分布記録が報告されてきた．1994年には各都道府県の分布表が出版され（寺山ほか 1994；寺山・木原 1994），2003 年には図鑑中に都道府県ごとの分布が示された（JADG 2003）．このように各地でアリ類の分布が明らかになっていく中，未だ調査が不十分と思われる県も存在する．その一つである秋田県は，寺山・木原（1994）の分布表ではわずか 36 種しか記録されておらず，その後，稀種のオオコツノアリ *Carebara borealis* が秋田県の個体を基に記載され (Terayama 1996)，田中・田中（1997）や萩原・久松（1998），田中・高橋（1998）によって数種の記録が追加されたが，元々西南日本と比べてアリ類の生息種数が少ない東北地方においても近隣県と比べ記録は多いとは言えない．つい昨年，佐藤・橋間（2018）が大潟村で採集したアリ類を報告したが，未だ分布空白は多く，これら新しい記録を合わせても 49 種しか確認されていない．

2017 年 8 月，第 60 回蟻類研究会学会大会が秋田県で開催されたが，当年は生憎の雨で例年行われているエクスカーションが中止となり，大会参加者によって採集されたアリ類のリストは出版されなかった．当大会に参加するために秋田県を訪れていた筆者は，大会期間中，個人的に横手市山内土渕鶴ヶ池（2017 年 8 月 27 – 28 日）と秋田市仁別前岳（同月 29 日）の二地点においてアリ類を採集した．その結果，秋田県未記録と思われる種を含む 20 種を採集したため，少しでも本県の分布空白を埋めるためにこれを報告したい．本報告における採集者は全て筆者であり，採集個体のカーストの表記については寺山（2014）に従った．また，県初記録となる種には和名の後ろに*印を，歩行中の個体を目視で発見し採集したものに Lk，土壌篩いによって採集したものに S，夜間に自動販売機や街灯の光に集まっていた個体には採集データの末尾に Li を追記した．標本は一種につき少なくとも一個体は九州大学農学部昆虫学教室に保管し，残りは筆者が保管している．

採集したアリのリスト

Ponerinae ハリアリ亜科

1. *Cryptopone sauteri* (Wheeler, 1906) トゲズネハリアリ
   1df, 4w, 29. VIII. 2017, 前岳, S
2. *Hypoponera sauteri* Onoyama, 1989 ニセハリアリ
   1w, 29. VIII. 2017, 鶴ヶ池, S
3. *Ponera japonica* Wheeler, 1906 ヒメハリアリ
   1w, 29. VIII. 2017, 前岳, S
4. *Ponera scabra* Wheeler, 1928 テラニシハリアリ
   3w, 29. VIII. 2017, 前岳, S

Myrmecinae フタフシアリ亜科

5. *Strumigenys kumadori* Yoshimura & Onoyama, 2007 キタウロコアリ*
   2w, 28. VIII. 2017, 鶴ヶ池, S; 1m, 1w, 29. VIII. 2017, 前岳, S
   二地域とも，林縁の落葉層を篩って得られた.
6. *Lordomyrma azumai* Santschi, 1941 ミゾガシラアリ*
   2w, 29. VIII. 2017, 前岳, S
7. *Vollenhovia emeryi* Wheeler, 1906 ウメマツアリ
   2w, 28. VIII. 2017, 前岳, S
8. *Solenopsis japonica* Wheeler, 1928 トフシアリ
   5w, 28. VIII. 2017, 前岳, S
9. *Aphaenogaster japonica* Forel, 1911 ヤマトアシナガアリ
   7w, 29. VIII. 2017, 前岳, S
10. *Pheidole fervida* Smith, 1874 アズマオオズアリ
    4w, 1s, 28. VIII. 2017, 鶴ヶ池, S; 3w, 29. VIII. 2017, 前, S
11. *Tetramorium tsushimae* Emery, 1925 トビイロシワアリ
    3w, 28. VIII. 2017, 鶴ヶ池, Li

Dolichoderinae カタアリ亜科

12. *Technomyrmex gibbosus* Wheeler, 1906 ヒラフシアリ*
    2m, 28. VIII. 2017, 鶴ヶ池, Li
    オスのみが自動販売機の明かりに飛来していた.

Formicinae ヤマアリ亜科

13. *Formica hayashi* Terayama & Hashimoto, 1996 ハヤシクロヤマアリ
    1w, 28. VIII. 2017, 鶴ヶ池, Lk
14. *Formica japonica* Motschoulsky, 1866 *s. l.* クロヤマアリ隠蔽種群
    2w, 28. VIII. 2017, 鶴ヶ池, Lk
15. *Lasius japonicus* Santschi, 1941 トビイロケアリ
    7w, 28. VIII. 2017, 鶴ヶ池, Lk
16. *Lasius fuji* Radchenko, 2005 *s. l.* クロクサアリ隠蔽種群
    1af, 1m, 27. VIII. 2017, 鶴ヶ池, Li
17. *Lasius flavus* (Fabricius, 1782) キイロケアリ
    1m, 28. VIII. 2017, 鶴ヶ池, Li
18. *Nylanderia flavipes* (Smith, 1874) アメイロアリ
    10w, 29. VIII. 2017, 前岳, S
19. *Camponotus japonicus* Mayr, 1866 クロオオアリ
    1w, 27. VIII. 2017, 鶴ヶ池, Li; 2w, 28. VIII. 2017, 同, Lk; 2w, 28. VIII. 2017, 同, Lk
20. *Camponotus obscuripes* Mayr, 1879 ムネアカオオアリ
    1w, 27. VIII. 2017, 鶴ヶ池, Lk

今回記録した 20 種の内，3 種が県初記録と思われる． 特筆すべき点としては，ミゾガシラアリが得られたことが挙げられる．本種は南方系で，西南日本では比較的多いが東日本では記録が少ない（JADG 2003）．これまでの北限は栃木県であった（村田 1990；Taylor 2012）が，本報告により初めて東北地方に生息することが判明し，北限を大幅に更新した．秋田県における分布は，ミゾガシラアリ属の北限であると思われる．採集された 2 頭は朽ちた倒木下から得られた．本種は低山地の湿った土壌中から得られることが知られており（東 1949；Yasumatsu 1950；増子・神成 1980），東北地方でも同様の環境に生息しているようである．

今回報告された県初記録の種を加えると，秋田県に分布するアリ類は52 種となる．依然として近隣県から得られている普通種をいくつか欠いているものの，本報で記録されたミゾガシラアリや稀種のオオコツノアリが得られていることは興味深く，今後も調査を続けることでより多くの種数が得られることが期待できる．興味を持たれた方はぜひ秋田県へ足を運んでアリ類を採集していただきたい．

謝辞

末筆ではあるが，秋田県を訪れるきっかけとなった蟻類研究会学会大会への参加を快諾してくださった佐藤俊幸博士（東京農工大学）に厚く御礼申し上げる．

引用文献

東 正雄．1949．アズマロゲリアアリの新産地と営巣状態．新昆虫，2: 222 – 223.

萩原康夫・久松真紀子．1998．白神山地および周辺地域のアリ類．昭和大学教養部紀要，29: 63 – 68.

増子恵一・神成忠男．1980．ミゾシワアリ *Lordomyrma azumai* (Santschi)の新産地とその習性．蟻，(9): 5-6.

村田和彦．1990．八溝山地のアリ類．栃木県立博物館研究報告書，(8): 86 – 103.

日本産アリ類データベースグループ（JADG），2003．日本産アリ類全種図鑑，196 pp. 学習研究社，東京.

佐藤俊幸・橋間清香．2018．秋田県大潟村で採集されたアリ類．蟻，(39): 87.

田中政行・高橋大作．1998．秋田県未記録のトゲアリを採集．秋田自然史研究，(36): 22.

田中資大・田中政行．1997．秋田市千秋公園のアリ．秋田自然史研究，(34): 26 – 27.

Taylor, R.W. 2012. Ants of the genus *Lordomyrma* Emery (2) The Japanese *L. azumai* (Santschi) and six new species from India, Viet Nam and the Philippines (Hymenoptera: Formicidae: Myrmicinae). *Zootaxa*, 3282: 45 – 60.

Terayama, M. 1996. Taxonomic studies on the Japanese Formicidae, part 2. Seven genera of Ponerinae, Cerapachyinae and Myrmicinae. *Nature and Human Activities*, 1: 9 – 32.

寺山　守．2014．皇居のアリ．国立科学博物館専報，(50): 527 – 535.

寺山　守・木原 章．1994．日本産アリ類県別分布図．63pp.，日本蟻類研究会.

寺山　守・久保田敏・江口克之．2014．日本産アリ類図鑑，278 pp. 朝倉書店，東京.

寺山　守・緒方一夫・崔柄文．1994．日本産アリ類都道府県別分布表．蟻，(18): 5 – 17.

Yasumatsu, K. 1950. Discovery of an ant of the genus *Lordomyrma* Emery in eastern Asia (Hym.). *Insecta Matsumurana*, 17: 73 – 79.